

2年5組5班の活動報告です。渡邊貫太 林忠政 杉本陽生 田口日陽 藤村彩須果

◇ 研究テーマ「すべての人が健康で幸せに暮らせるために」

あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打ち、あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。

【関連するSDGs（アイコン）】



◇ 実践したこと（フィールドワークなどで調べて分かったこと）

赤十字病院の方と交流してわかったこと

- ・赤十字病院の主な活動として国内災害救護活動(医療救護)、救援物資の配分、血液製剤の供給、義援金の受付・配分、防災セミナーがあげられる。
- ・赤十字の指名である「人間の命と健康・尊厳を守る」に基づき、救命・健康・安全意識に対する意識、技術の普及を行っている。
- ・一般的な医療機関+地域医療に多大な貢献を行っており、その経験からお話を伺った。
- ・災害救護活動を何度も経験したことがあるが毎度新しい発見があり、また救護をするときは、被災者のこころのケアや自助を重要としている。

◇ 提案

- ・コロナにより献血が激減しているため、献血を進んで行う。
- ・防災グッズの確認など災害意識を高める。
- ・募金活動への協力。
- ・緊急時に対応できるように擁護を身に着けるためにセミナーを積極的に受講する。
- ・いのちの重さを感じて生活する。

◇ 活動を通じて考えたこと

自分の命、他人の命を守るために災害救護について進んで学ぶ必要があることということを知りました。そして、一人一人が災害についての危機感を持って過ごしていき、命についてもっと重く考えていくことが大切だと思いました。

災害救護について自分たちが知らないことが多くあり、もっと勉強しないといけないと思った。

災害救護では災害にあった人々を救い出すとともに、心のケアを重視していると聞き、心身相関の重大さを改めて感じることができ、健康で平和に暮らせていることがいかに幸せであることかを実感しました。

災害に対して、赤十字の人たちや自分たちのためにできることを多く知りました。このことを周りの人は知らないと思うので、伝えていきたいと思いました。

今回、沢山の貴重な体験や普段とは違う学習を通して自分の命を守る正しい行動と災害に対する正しい知識を再確認できた。